患者さんへのお知らせ：「DEXAを用いた骨格筋指標による上部消化管周術期アウトカムの予測」へのご協力のお願い

　近年社会の高齢化に伴いフレイル（虚弱）、サルコペニア（筋減少症）の外科手術に及ぼす影響が議論されています。この実情を調査して、今後の周術期治療や治療法の選択などに役立てるため、当院で食道癌・胃癌手術を受けられた方における術前のサルコペニアと術後経過との関連についての調査研究を行います。2023年4月～2024年6月に食道癌・胃癌に対して切除・再建術を実施した患者さんのなかで、術前にDEXA（２強度X線吸収測定法）の検査を受けられた方が対象です。これらの方の臨床情報（年齢、性別、原疾患の病態、化学療法の有無、併存症有無；血液検査データはアルブミン、リンパ球数、CRP；DEXAによる四肢骨格筋指標SMI、など）、周術期アウトカム（術後合併症、入院期間、など）を電子カルテから収集して分析します。

　情報抽出に際しては、病院内の診療端末から、個人が特定されるような情報（お名前、生年月日、診察券番号、など）が含まれないように注意して行います。抽出された情報は、研究責任者であるJCHO東京山手メディカルセンター食道胃外科診療部長・久保田啓介が、院外に漏出することのないように責任を持って保管します。分析された結果は、診療上栄養指導などに役立てるほか、広く医学の発展に寄与するために学会発表、論文報告などに利用します。

　調査は2024年12月まで行う予定です。ご自身の情報がこの調査研究に利用されることを希望されない場合は、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも診療はこれまで通り行い、不利益を被ることはありません。お申し出に応じて調査の対象から除外します。もし情報抽出後であった場合には、情報を削除して、この調査研究には利用しません。

　本調査研究の趣旨をご理解の上、ご協力くださいますようよろしくお願い申し上げます。

連絡先：JCHO東京山手メディカルセンター　食道胃外科　久保田啓介

電話　03-3364-0251（代表）、FAX　03-3364-5663